

令和7年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立東島根中学校 校長 大瀧 訓久

1 学校教育目標

人権尊重の精神を培い、基礎・基本を身に付け、思考力・判断力・表現力豊かで主体的に国際社会に貢献できる人間を育成するため、次の目標を設定する。

・思いやる ・自ら学ぶ ・やり通す

2 現状の学校図書館の課題

- ① 書架のひっ迫に対応し、書架・奥行調整材などの購入や配置の工夫、思い切った閉架書庫の利用時期となった。
- ② より授業活用されるために必要とされる資料（2・3・4・7類）の導入や整備。
- ③ 生徒の動線上にない施設立地なため、常に利用を呼び掛ける工夫が必要。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ① 学校図書館の「学習・情報センター」としての利活用を推進するため OPAC を活用する。
- ② 生徒の読書活動を支援し、様々な情報を効率的に駆使できるよう指導する。

4 今年度の重点的な取組

- ① 学校図書館で学習が円滑にできるよう、
- ② 読書時間を確保し、できるだけ図書館の本を読むよう様々なアプローチをする。
- ③ 生徒が行きやすい、居やすい場所となるよう、学校司書の対応時間も工夫する。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明しよう、調べる学習コンクール ②メディアの特徴を生かして情報を集めよう、調べる学習コンクール ③情報を読み取って文章を書こう
社会	①身近な地域の調査 ②地域の在り方 ③私たちの課題
音楽	①日本の民謡 ②交響曲 ③ポピュラー音楽
理科	①生物の分類 ②天気とその変化 ③地球と宇宙
英語	①地球規模で考え、地域で実践しよう ②世界遺産 ③修学旅行
保健体育	・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康

実践の評価

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

読書時間の確保（朝読書）①～③ OPAC を使用して学校の本を活用 ①～③
新聞の気になる記事のクリッピング③

(2) 主な行事等の取り組み

読書月間（ビブリオバトルや委員会の POP 作りなど本の話題があがるイベントを行う）11 月頃

(3) 図書委員会などの取り組み

① 学級文庫の選書・入れ替え ② 広報による PR ③ 書架整理（蔵書点検含）作業

(4) 環境整備の取り組み

① 館内のレイアウト、書架や奥行調整材を再考し使いやすさを向上。
② 電算化更新等に適切に対処できるようにする。

(5) 司書・外部との連携

① 学習で必要な本を迅速に取り寄せる。
② 特に授業への対応は円滑にできるよう、時間や資料の準備をより充実させる。

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	探究的な学習を ICT と本、新聞など、複数の情報を活用して展開させる。	ICT と図書を併用した調べ学習を実施した回数：年 4 回	
②	読書タイムを確保し、生徒一人が年間 10 冊以上の本を読むようにさせる。	生徒の年間平均貸出冊数：15 冊	
③	年間の学習指導内容に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	

8 学校図書館全体に関する自己評価

--